

# 社会の課題解決へ 女性起業家ら新ビジネス発表

# グランプリは大学院生

## 熊本市

県内の女性起業家によるビジネスコンテスト「みんなの夢アワードin熊本」が24日、熊本市中央区の市男女共同参画センターはあもにいであった。6人が新規ビジネスを発表。崇城大発のベンチャーを経営する大学院生の古賀碧さん(24)≪同市≫のプランがグランプリに選ばれた。



ミューズプランニング(熊本市)、熊本日日新聞社などが、社会課題の解決を目指す女性起業家を支援しようとして初めて開いた。

書類選考と面接を通過した6人が登壇し、農産物の生産・販売を通じて元受刑者の社会復帰を支援するプランなどを披露。審査員や協賛企業21社、来場者の投票でグランプリを決めた。

古賀さんのベンチャーは球磨焼酎の製造過程で出た焼酎かすを使い、農産物の生育促進に効果があるとされる「光合成細菌」を培養するキットを生産・販売している。昨年発足したばかりで、事業拡大に向け「経営面を支えるビジネスパートナーがほしい」と企業関係者らに呼び掛けた。

表彰式で古賀さんは「皆さんに次会う時はもっとでかい会社になりたい。一緒に熊本を盛り上げましょう」と話した。(中原功一朗)

女性起業家のビジネスコンテストでグランプリに選ばれ、表彰される古賀碧さん(右)≪熊本市中央区≫